

「受動喫煙等に関するアンケート」 調査報告書

松戸圏域 地域・職域連携推進協議会
令和元年10月

Ⅰ.調査概要

1. 目的

当協議会におけるたばこ対策の取組みの方向性である「受動喫煙の防止」「たばこをやめたい人への支援」を実施するため、管内の現状を把握し、より効果的な具体策を導き出すため

- ①受動喫煙に関する知識の浸透度(受動喫煙にあたる行為等)を調査し、周知・啓発すべきポイントを整理する情報の一助とする
- ②禁煙した人、禁煙にチャレンジした人の「きっかけ」と「成功(継続)するにあたり有効なこと」を把握することにより、“やめたい人”への啓発や支援に効果的なポイントを整理する情報の一助とする
- ③未成年のプレ職域世代(高校生)に、たばこに関するイメージ等を調査し、喫煙の入り口に立たせない方向性を見出す一助とする

2. 調査方法

①調査対象者

[職域世代] 1,715人

- ・ 地域・職域連携推進協議会の作業部会委員、協議会委員の属する機関の職員や会員
- ・ 市町村等で実施する健康教育や検診(健診)事業等の参加者
- ・ 地域・職域連携推進協議会で実施した出張講座の参加者 等

[プレ職域世代(高校生)] 1,560人

- ・ 松戸保健所管内(松戸市、流山市、我孫子市)の高等学校3校

②調査方法

[職域世代]

- ・ 健康教育や検診(健診)事業実施の場で、配布し、回答・回収
- ・ 調査は無記名の用紙を用い、記入式で実施

[プレ職域世代(高校生)]

- ・ 教諭から生徒に配布し、その場で回答・回収
- ・ 調査は無記名の用紙を用い、記入式で実施

③調査期間[職域世代、プレ職域世代(高校生)]

平成30年12月～平成31年3月

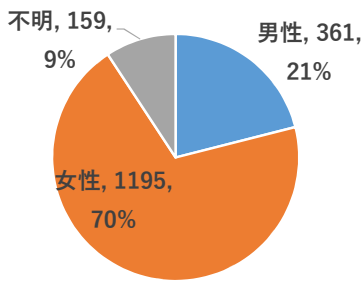
④調査実施者

松戸圏域地域・職域連携推進協議会 <事務局：千葉県松戸健康福祉センター>

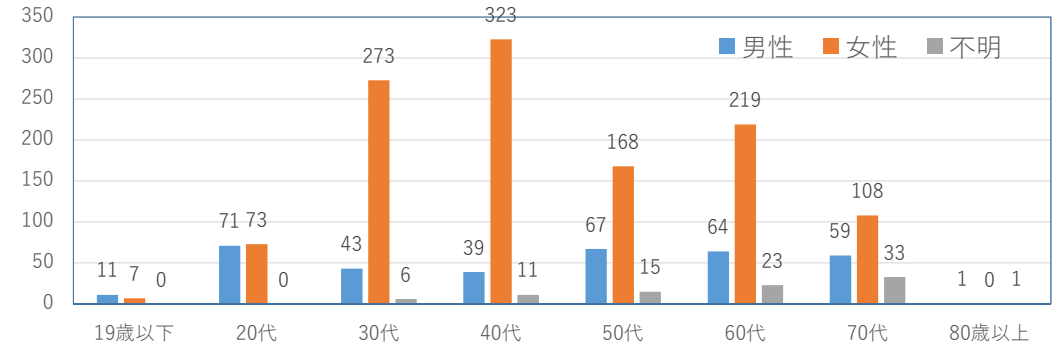
分析協力：江戸川大学 社会学部 人間心理学科 中村 真教授

3. 回答者の内訳【職域世代】 総回収数1,715人

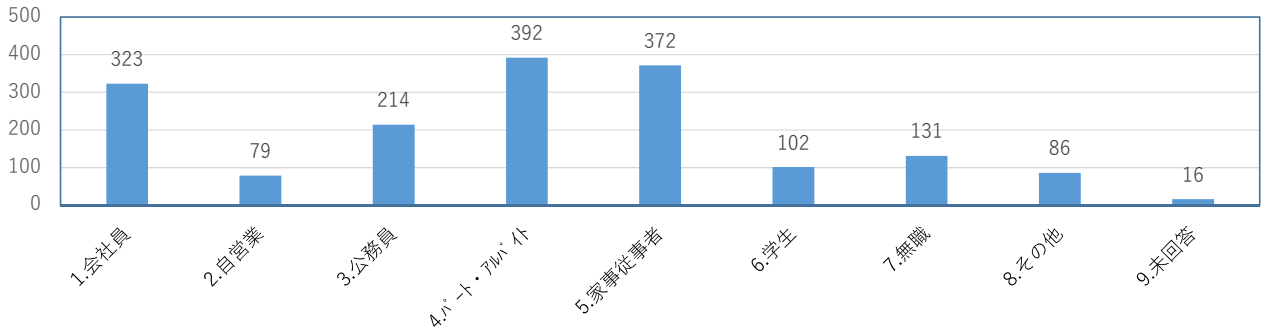
①男女別



②世代・男女別

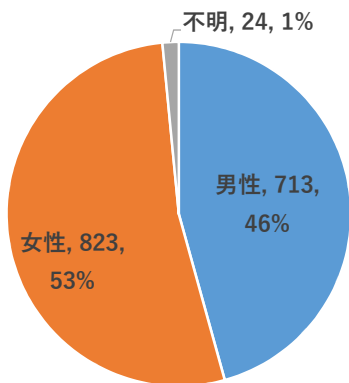


③職業別

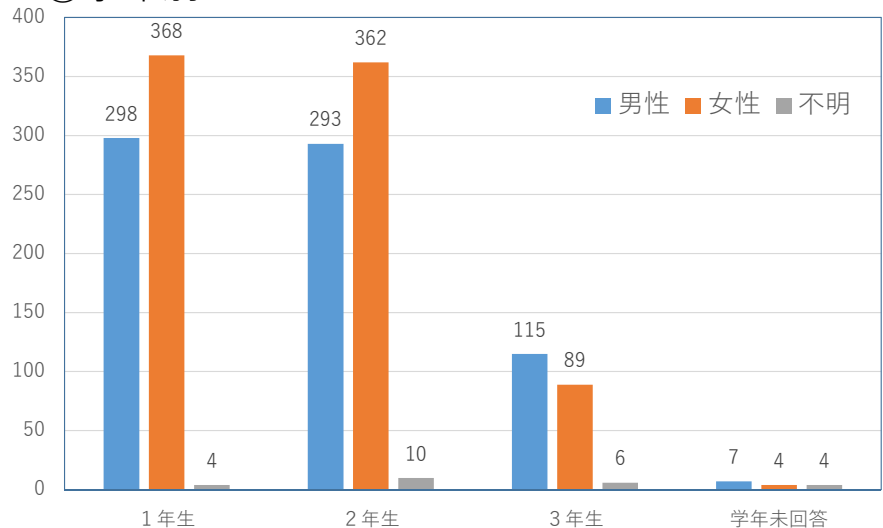


【プレ職域世代（高校生）】 総回収数 1,560人

①男女別

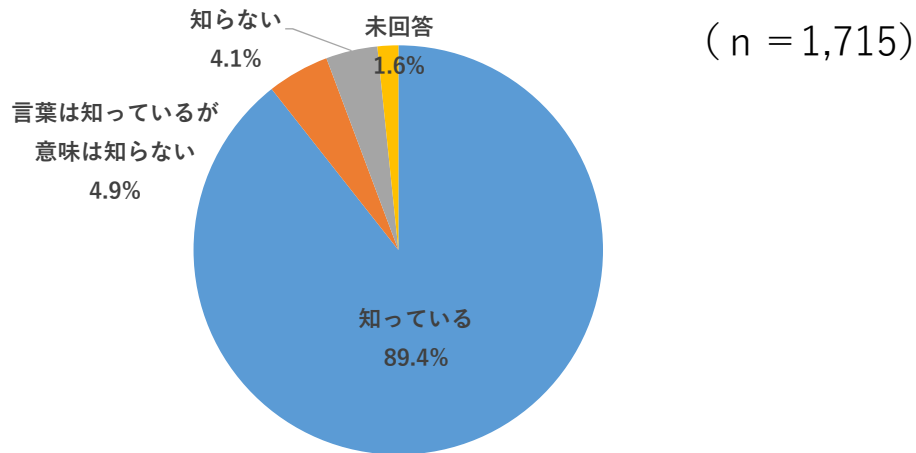


②学年別



II.-(1)調査結果【職域世代】

【質問1】 あなたは「受動喫煙」という言葉を知っていますか？（○は1つ）

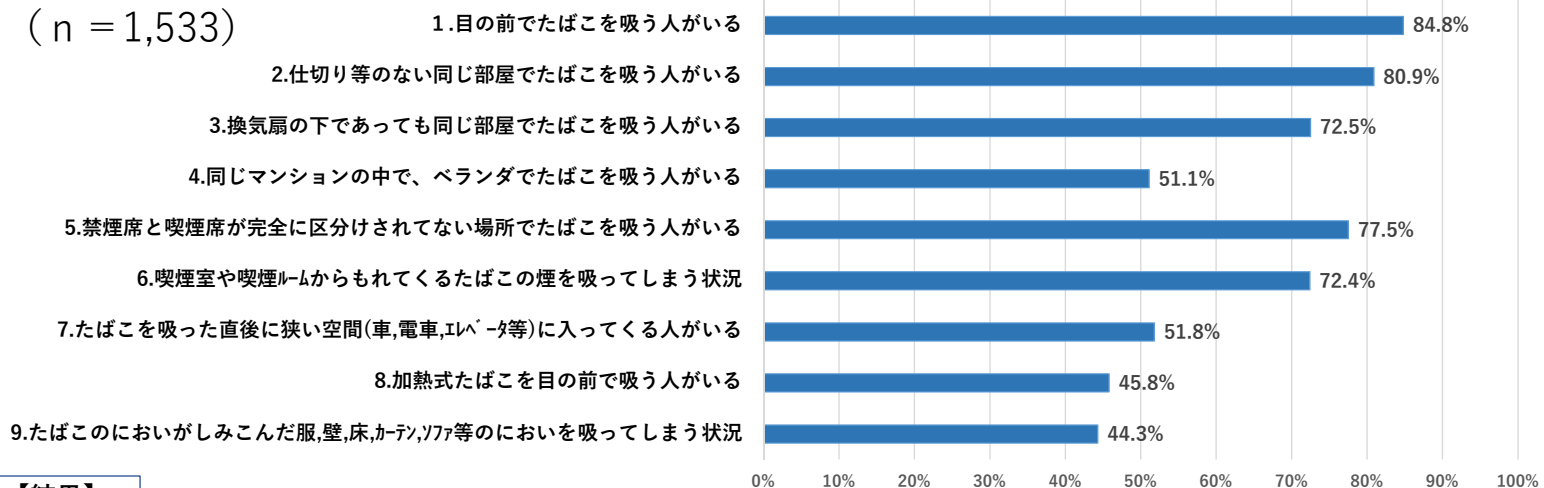


【結果】

- 「受動喫煙」については、94.3%の人がその言葉を知っているが、意味まで理解している人は89.4%である。
 - 「受動喫煙」という言葉を「知らない」と回答した人は、4.1%と少ない。
- ⇒ 「受動喫煙」という言葉は、多くの人に認識されている

【質問2】（質問1で「知っている」と回答した方のみ） どういった行為や状況が、「受動喫煙」にあたると思いますか？（あてはまるもの全てに○）

(n = 1,533)

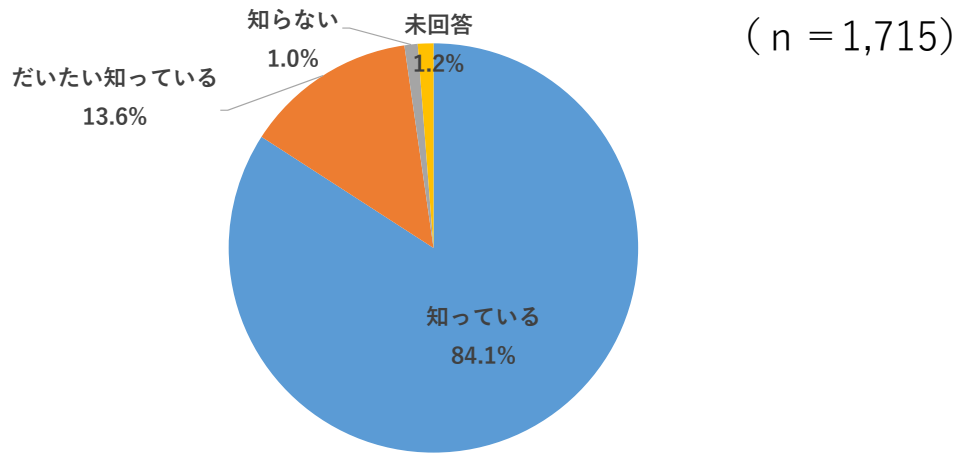


【結果】

- 「受動喫煙」にあたる行為において、「1.目の前でたばこを吸う人がいる」「2.仕切り等のない同じ部屋でたばこを吸う人がいる」「3.換気扇の下であっても同じ部屋でたばこを吸う人がいる」「5.禁煙席と喫煙席が完全に区分けされていない場所でたばこを吸う人がいる」「6.喫煙室や喫煙ルームからもれてくるたばこの煙を吸ってしまう状況」といった直接的に煙にさらされる行為についての認識は高く、7割以上が受動喫煙にあたると思回答している。
- 「4.同じマンションの中で、ベランダでたばこを吸う人がいる」「7.たばこを吸った直後に狭い空間に入ってくる人がいる」「8.加熱式たばこを目の前で吸う人がいる」「9.たばこのにおいがしみこんだ服,壁等のおおいを吸ってしまう状況」といった、直接的にたばこやたばこの煙がイメージされにくい行為に対する受動喫煙の認識は、5割前後にとどまっている

⇒ 「受動喫煙の行為」の理解度については、認識が高い行為とまだ認識が不十分な行為がある

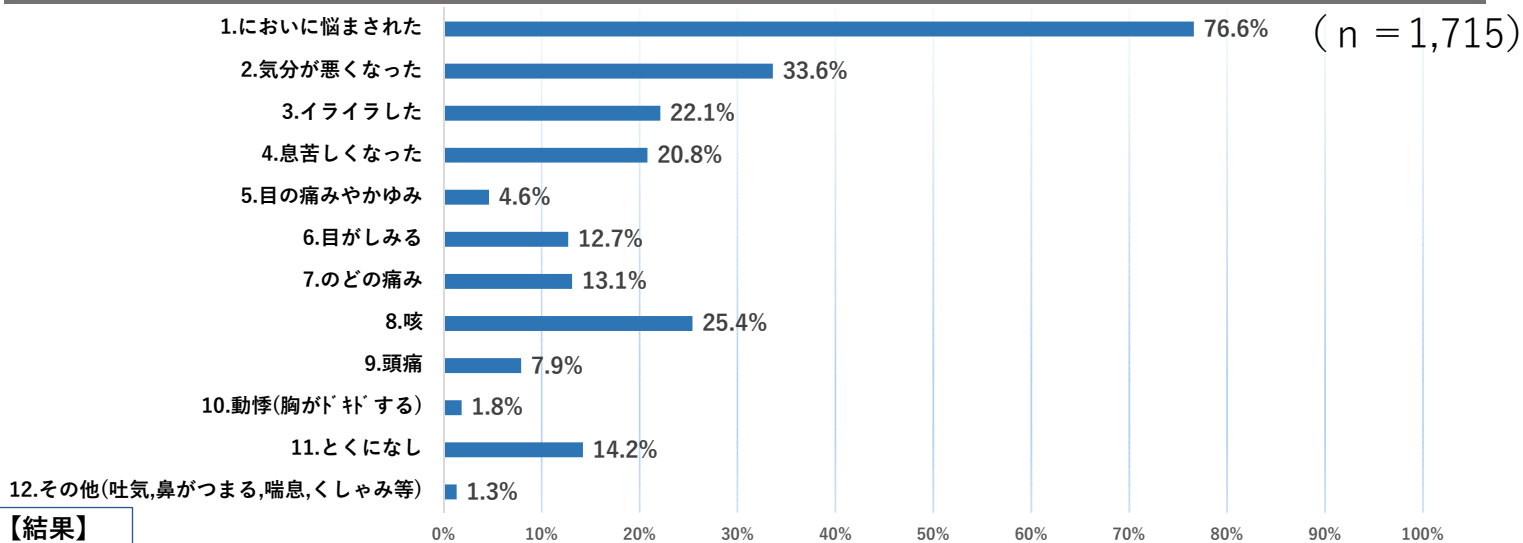
【質問3】「受動喫煙」とは、「自分の意志とは関係なく、他者のたばこの煙や吐き出された煙等を吸ってしまうこと」をいいます。あなたは、喫煙者だけでなく、非喫煙者にも受動喫煙により健康への影響があることを知っていますか？（○は1つ）



【結果】

- 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があることを知っている人は、「知っている」「だいたい知っている」をあわせると、97.7%となった。
 - 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があることを「知らない」と回答した人は、1.0%と少ない。
- ⇒ 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があるということを、多くの人認識している

【質問4】受動喫煙を受けて、次の様な不快な思いや健康に関わる症状等が出たことがありますか。（該当する番号全てに○）

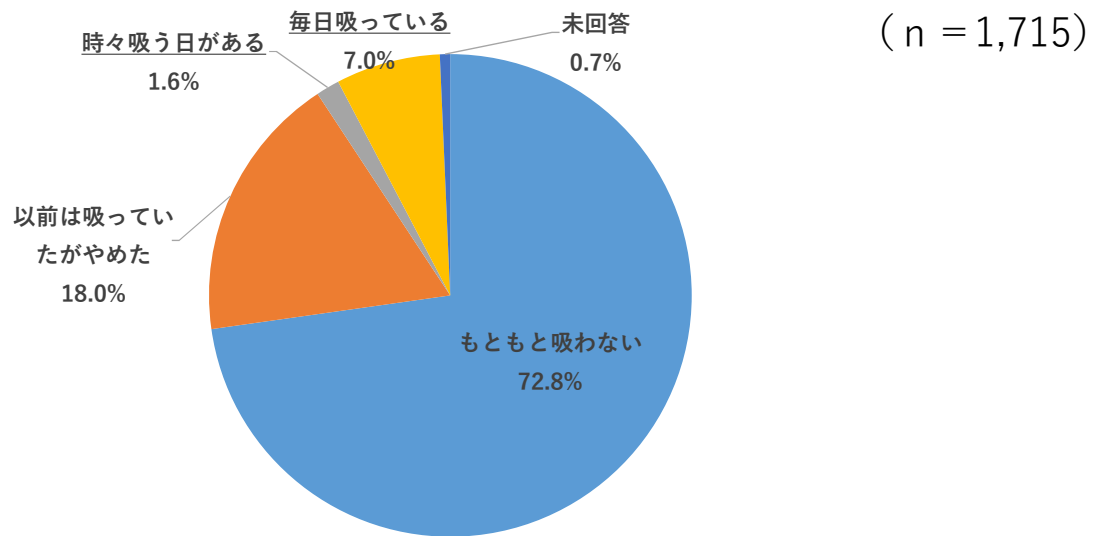


【結果】

- 「受動喫煙」を受けて、出現した症状等で最も高かった項目は、「においに悩まされた」であり、76.6%の人があったと回答している。
- 「気分が悪くなった」と回答した人は33.6%、「イライラした」「息苦しくなった」「咳」の出現も2割を超えていた。

⇒ 「受動喫煙を受けて出現した症状」では、「においに悩まされた」人が多く、他にも咳や息苦しいといった呼吸器症状を呈している人もみられた

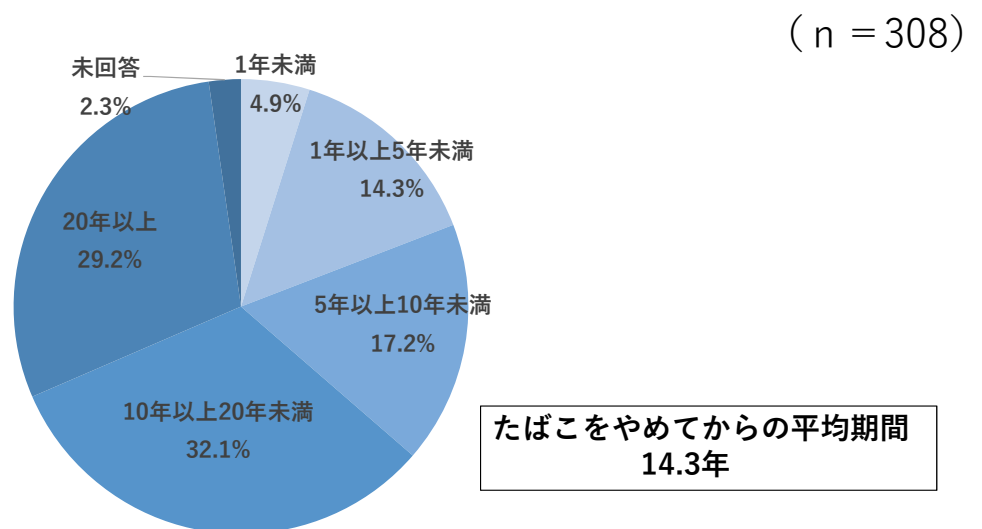
【質問5】あなたは、たばこを吸いますか？（※ここでいう、「たばこ」とは、紙巻きたばこ、葉巻、加熱式たばこをさします）（○は1つ）



【結果】

- 回答者のうち、たばこを「もともと吸わない」人は72.8%、「以前は吸っていたがやめた」人は18.0%であり、非喫煙者が9割を占めている
 - たばこを「時々吸う日がある」人は、1.6%、「毎日吸っている」は7.0%であり、喫煙者は8.6%と1割に満たない。
- ⇒回答者のうち、非喫煙者が9割を占めた

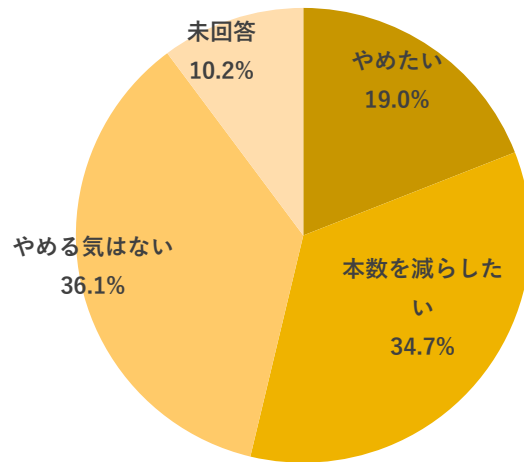
【質問5-①】（質問5で「2. 以前は吸っていたが、やめた」と回答した方で、）あなたはたばこをやめてから、どのくらい経過していますか？



【結果】

- たばこをやめてから、1年未満と回答した人は4.9%であった。
- やめてから、10年以上経過している人は、6割を超え禁煙が定着していることがうかがえた
- たばこをやめてからの平均期間は、14.3年であった

【質問5-②】（質問5で「3. ときどき吸う日がある」「4. 毎日吸っている」と回答した方で、）たばこを吸うことについて、どう思っていますか？



(n = 147)

【結果】

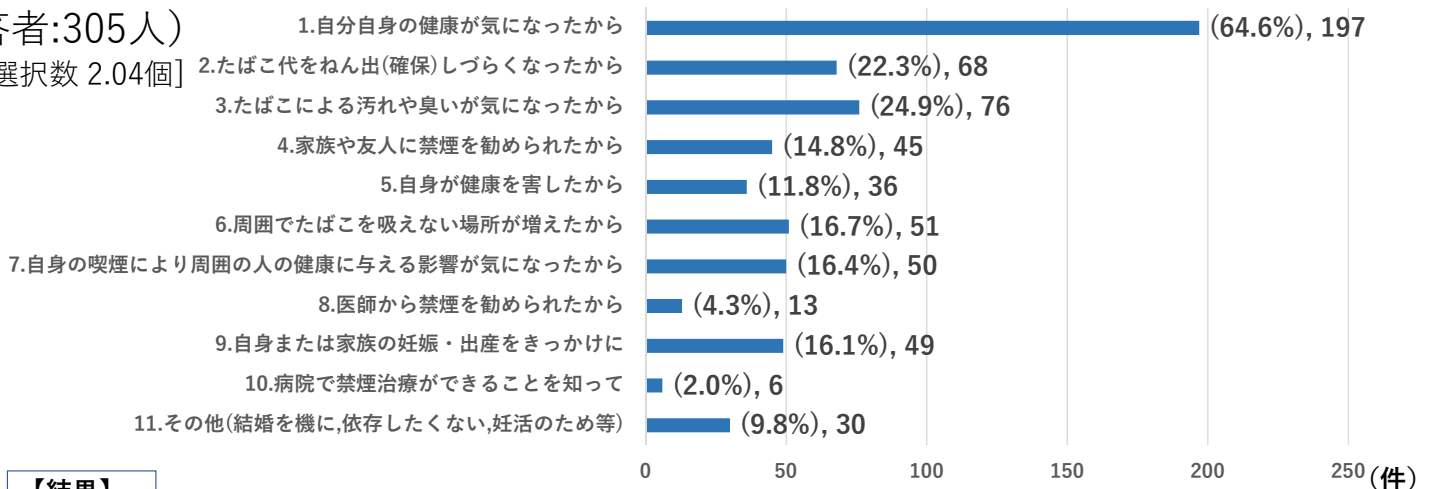
- たばこを吸っている人で、「やめたい」と思っている人は19.0%、「本数を減らしたい」と思っている人は34.7%でたばこを吸っている人の約半数は、禁煙あるいは減煙をしたいと考えている。
- たばこを吸っている人のうち、36.1%は「やめる気はない」と回答している。

【質問6】（これまでに、禁煙にチャレンジしたことのある方、たばこをやめたいと思ったことがある方に質問）

禁煙にチャレンジしようと思った理由（又はやめたい理由）を最大3つまで選んでください（該当する番号に○。○は3つまで）

(回答者:305人)

[平均選択数 2.04個]



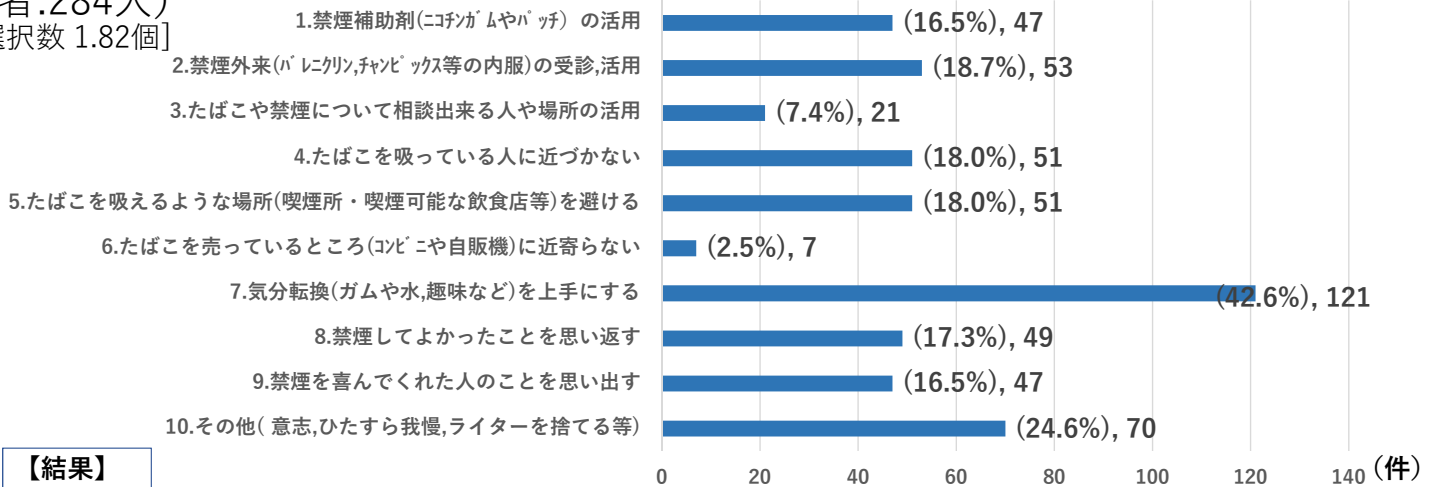
【結果】

- 禁煙にチャレンジ(又はやめたい)理由で、最も多かった理由が「自分自身の健康が気になったから」で197件(64.6%)であった。
- 「家族や友人に禁煙を勧められた」「自身の喫煙により周囲の人の健康に与える影響が気になった」「自身または家族の妊娠・出産をきっかけに」という項目も50件前後の回答があり、自分自身だけでなく、周りの方からの助言や影響をきっかけとする傾向がみられた

【質問7】（これまでに、禁煙にチャレンジしたことのある方、たばこをやめたいと思ったことがある方に質問）

禁煙を成功、継続するために有効・必要だと思うことを最大3つまで選んでください（該当する番号に○。○は3つまで）

（回答者:284人）
[平均選択数 1.82個]

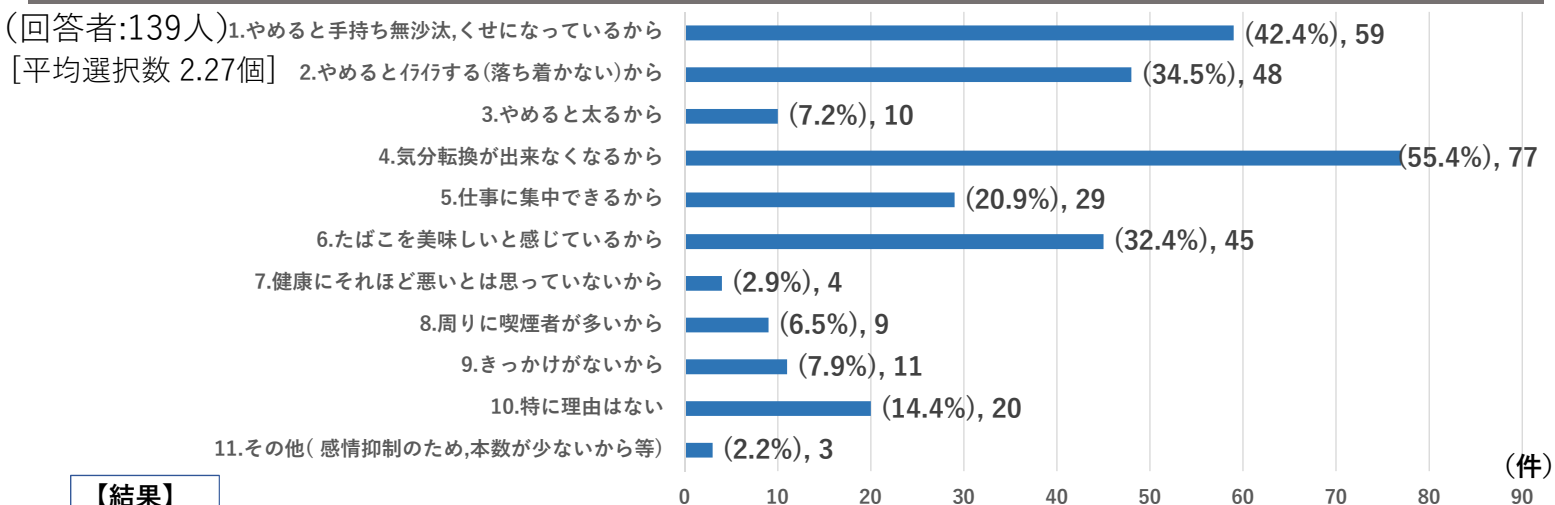


【結果】

- 禁煙を成功、継続するために有効だと思う理由で、最も多かった項目が「気分転換(ガムや水,趣味など)を上手にする」で121件(42.6%)であった。
- 「禁煙外来の受診、活用」や「たばこを吸っている人に近づかない」「たばこを吸えるような場所を避ける」といった項目も50件前後の回答があり、物理的にたばこから距離を置くことが有効である回答が多かった。

【質問8】（質問5で、たばこを「3.ときどき吸う日がある」「4.毎日吸っている」と回答した方に質問）

いま、たばこを吸っている（たばこをやめたいと思っている方は、やめられない）理由を最大3つまで選んでください（該当する番号に○。○は3つまで）

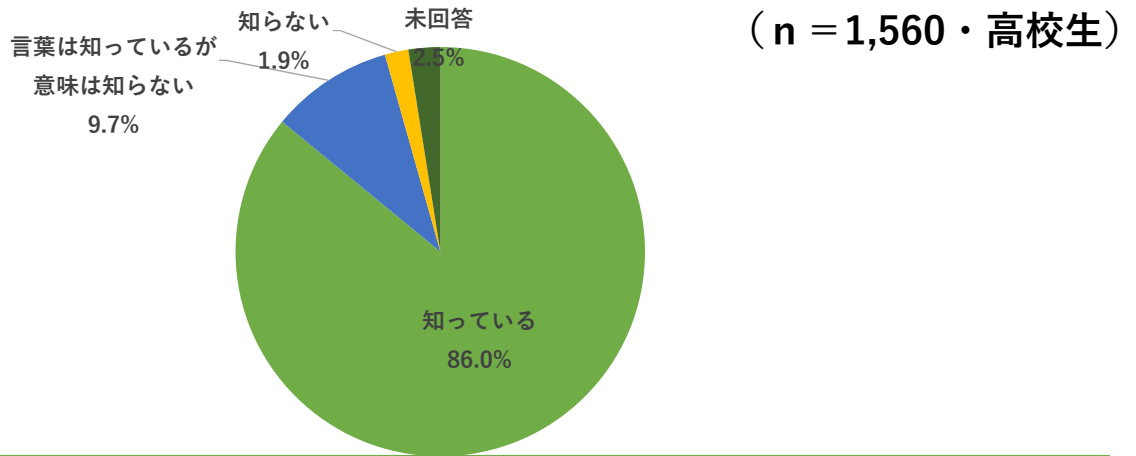


【結果】

- たばこを吸っている理由で、最も多かった項目が「気分転換が出来なくなるから」で77件(55.4%)であった。
- 次に多かった項目では、「やめると手持ち無沙汰になる,くせになっているから」で59件(42.4%)、「やめると行行する」48件(34.5%)であった
- 「健康にそれほど悪いとは思っていない」と回答した方は4件(2.9%)にとどまり、喫煙者においてもたばこは「健康に影響がある」ことは理解されている傾向が伺えた

II.-(2)調査結果【プレ職域世代（高校生）】

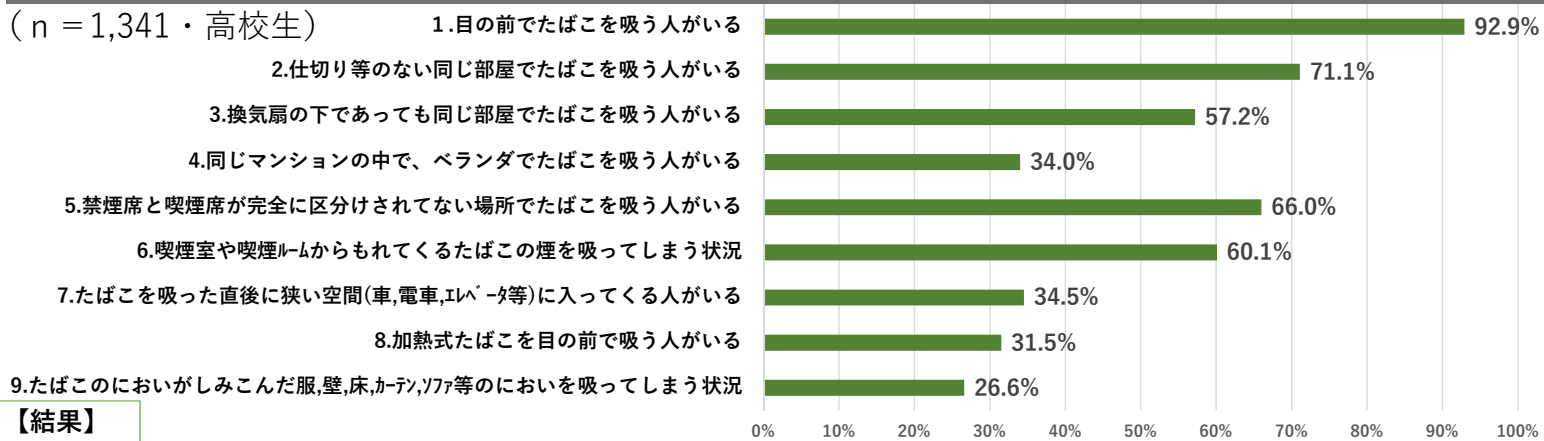
【質問1】 あなたは「受動喫煙」という言葉を知っていますか？（○は1つ）



【結果】

- 「受動喫煙」については、95.7%の人がその言葉を知っているが、意味まで理解している人は86.0%である。
 - 「受動喫煙」という言葉を「知らない」と回答した人は、1.9%と少ない。
- ⇒ 「受動喫煙」という言葉は、高校生においても高い割合で認識されている

【質問2】（質問1で「知っている」と回答した方のみ） どういった行為や状況が、「受動喫煙にあたると思いますか？（あてはまるもの全てに○）



【結果】

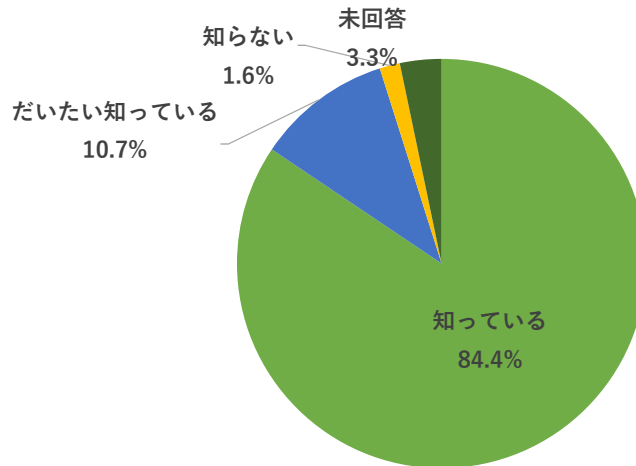
- 「受動喫煙」にあたる行為において、「1.目の前でたばこを吸う人がいる」での認識は高く、9割を超えていた。
- 「2.仕切り等のない同じ部屋でたばこを吸う人がいる」での認識は7割を超えていたが、「3.換気扇の下であっても同じ部屋でたばこを吸う人がいる」「5.禁煙席と喫煙席が完全に区分けされていない場所でたばこを吸う人がいる」「6.喫煙室や喫煙ルームからもれてくるたばこの煙を吸ってしまう状況」では6割前後の認識であった。
- 「4.同じマンションの中で、ベランダでたばこを吸う人がいる」「7.たばこを吸った直後に狭い空間に入ってくる人がいる」「8.加熱式たばこを目の前で吸う人がいる」「9.たばこのにおいがしみこんだ服,壁等のおいを吸ってしまう状況」といった、直接的にたばこや煙がイメージされにくい行為に対する受動喫煙の認識は、3割前後にとどまっている

⇒ 「受動喫煙の行為」の理解度については、認識が高い行為とまだ認識が不十分な行為がある

職域世代と比較すると、「目の前でたばこを吸う人がいる」項目以外の認識は、10Pほど認識が低かった

【質問3】「受動喫煙」とは、「自分の意志とは関係なく、他者のたばこの煙や吐き出された煙等を吸ってしまうこと」をいいます。あなたは、喫煙者だけでなく、非喫煙者にも受動喫煙により健康への影響があることを知っていますか？（○は1つ）

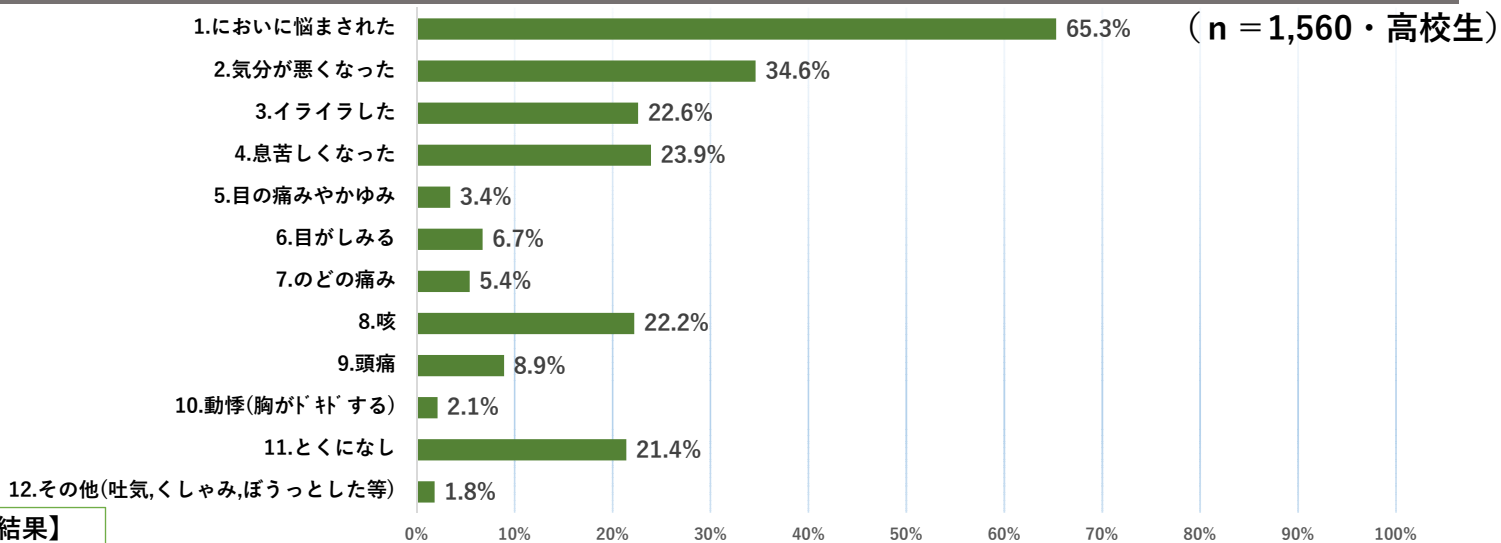
（n = 1,560・高校生）



【結果】

- 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があることを知っている人は、「知っている」「だいたい知っている」をあわせると、95.1%となった。
 - 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があることを「知らない」と回答した人は、1.6%と少ない。
- ⇒ 「受動喫煙」が非喫煙者にも健康への影響があるということを、高校生においても、多くの人が認識している

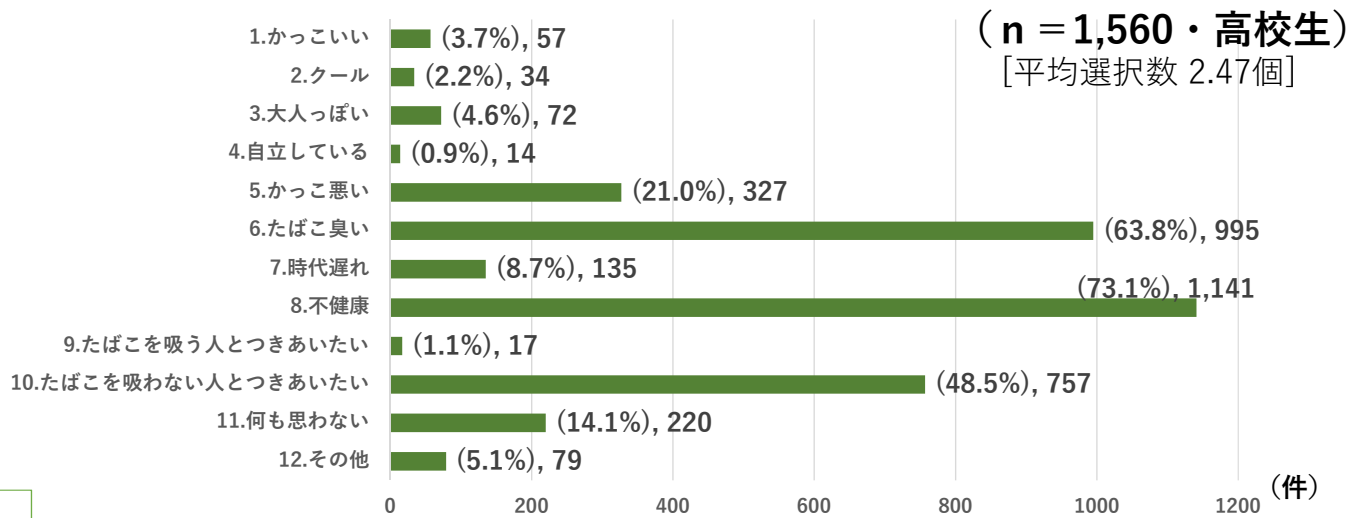
【質問4】受動喫煙を受けて、次の様な不快な思いや健康に関わる症状等が出たことがありますか。（該当する番号全てに○）



【結果】

- 「受動喫煙」を受けて、出現した症状等で最も高かった項目は、「においに悩まされた」であり、65.3%の人があったと回答している。
 - 「気分が悪くなった」と回答した人は34.6%、「イライラした」「息苦しくなった」「咳」の出現も2割を超えていた。
- ⇒ 「受動喫煙を受けて出現した症状」では、「においに悩まされた」人が多く、他にも咳や息苦しいといった呼吸器症状を呈している人もみられた。高校生は、職域世代と比べると症状出現の割合が低かった

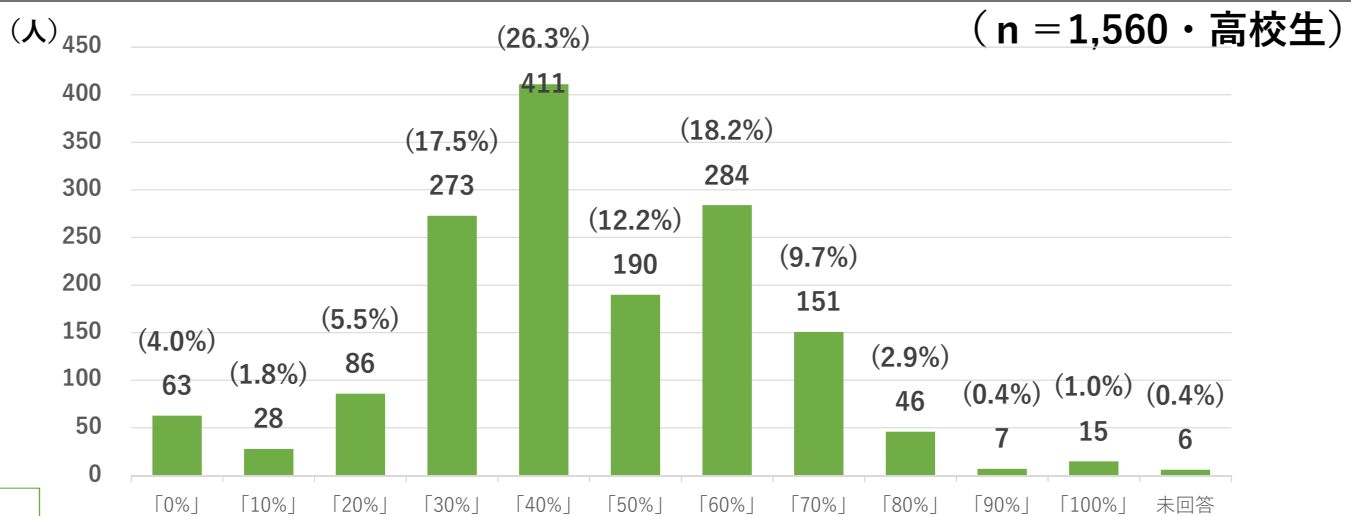
**【質問5】あなたは、たばこについてどういう印象をもっていますか。
(該当する番号全てに○。○は3つまで)**



【結果】

- 高校生の中で、たばこについての印象の中で最も多かった項目が「不健康」で1,141件(73.1%)であった。
 - 次に多かった項目では、「たばこ臭い」で995件(63.8%)、「たばこを吸わない人つきあいたい」で757件(48.5%)であり、たばこに対し、“否定的”な項目についての印象が多かった。
 - たばこに対する肯定的な項目である「大人っぽい」では72件(4.6%)、「かっこいい」で57件(3.7%)、「クール」で34件(2.2%)と少数としての意見にとどまった。
- ⇒高校生では、たばこに対し否定的なイメージを持っている者が多数であった

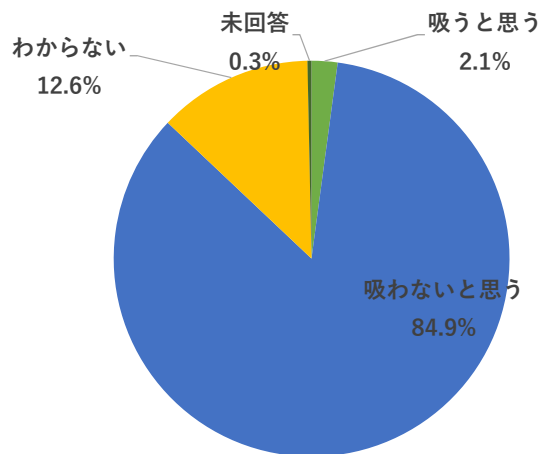
【質問6】あなたは、大人(20歳以上)の何%がたばこを吸う習慣があると思いますか。(あてはまると思う0%~100%の10%刻みで、あてはまる%1つに○)



【結果】

- 大人のたばこを吸う習慣の割合について、最も多かった割合の項目が「40%」であり、411人(26.3%)であった。次に多かったのが、「60%」で284人(18.2%)となっていた。
 - 平成29年度の千葉県の生活習慣のアンケート調査による喫煙率では、男性が22.0%、女性が6.5%であることから、高校生が想像している「大人がたばこを吸っている割合」との間に差がある
- ⇒「大人がたばこを吸っている割合」が4割以上いると考えている高校生が7割以上を占めていた

【質問7】あなたは、将来、習慣的にたばこを吸うと思いますか。（○は1つ）



（n = 1,560・高校生）

【結果】

- 高校生のうち、将来の喫煙可能性について、「吸わないと思う」人は84.9%であり、多くの生徒は、現時点では吸わない思いが高い。逆に、「吸うと思う」と回答した人は2.1%であり、少数派といえる傾向であった。

⇒高校生は「将来たばこを吸うと思う」と考えている者は少数であり、8割以上は「吸わないと思う」と考えている

【参考データ】

		松戸市			流山市		我孫子市		県			国		
計画期間		H26～H35 (健康まつど21Ⅲ)			H27～H31 (流山市健康づくり 支援計画)		H27～H36 (第2次心も身体も健 康プラン)		H25～H34 (健康ちば21 (第2次))			H25～H34 (健康日本21 (第2次))		
		策定時 の値	中間 評価値	目標値	策定時 の値	目標値	策定時 の値	目標値	策定時 の値	中間 評価値	目標値	策定時 の値	中間 評価値	目標値
成人の喫煙率	男性	27.6% (H25年度)	23.0% (H29年度)	10.0%	14.9% (H26年度) ※18 ～64歳	8.0%	19.0% (H25年度)	15.7%	29.3% (H23年度)	22.0% (H29 年度)	20.0%	19.5% (H22年)	18.3% (H28年)	12.0%
	女性	9.8% (H25年度)	6.0% (H29年度)	2.7%			6.3% (H25年度)	4.4%	8.7% (H23年度)	6.5% (H29 年度)	5.0%			
	妊婦	3.2% (H25年度)	1.4% (H29年度)	0.0%	1.4% (H26年度)	1.0%	3.2%	0.0%	5.0% (H22年) ※参考値	2.2% (H28 年度)	0.0%	5% (H22年)	3.8% (H25年)	0.0%
未成年者の喫煙率	男子						2.8% ※高校生	0.0%	5.6% (H23年度) ※15～19 歳	1.2% (H29 年度)	0.0%	8.6% (H22年) ※高校 3年生	4.6% (H26年) ※高校 3年生	0.0%
	女子								0% (H23年度) ※15～19 歳	0.9% (H29 年度)	0.0%	3.8% (H22年) ※高校 3年生	1.4% (H26年) ※高校 3年生	0.0%